



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL http://www.nippon-gear.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 0466-45-2100

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,701	△23.4	26	△93.4	30	△92.5	16	△94.2
29年3月期第1四半期	2,221	△1.6	407	69.8	411	70.4	277	62.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.14	1.14
29年3月期第1四半期	19.56	ー

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	10,213	7,503	73.4	528.47
29年3月期	10,823	7,498	69.3	528.22

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 7,499百万円 29年3月期 7,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	3.00	ー	3.00	6.00
30年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
30年3月期(予想)	ー	2.00	ー	2.00	4.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	△4.7	310	△40.6	310	△40.9	210	△40.5	14.80
通期	8,700	△3.5	620	△41.6	620	△41.8	430	△37.4	30.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,280,000株	29年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	89,744株	29年3月期	89,644株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	14,190,306株	29年3月期1Q	14,190,594株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではジャッキ及びその他の増減速機は増加いたしました。バルブ・コントロールが減少したため、受注は減少いたしました。歯車につきましても自動車用が減少したことにより受注は減少いたしました。これにより、歯車及び歯車装置事業の受注は減少いたしました。工事業では火力発電所向け等が減少したことにより受注は減少いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の受注高は23億2百万円(前年同期比12.7%減)、売上高は17億1百万円(前年同期比23.4%減)となりました。一方、当第1四半期会計期間末の受注残高は30億98百万円(前事業年度末比24.1%増)となりました。

損益面につきましては、原価低減に努めた結果、売上原価が12億1百万円(前年同期比11.1%減)、販売費及び一般管理費は4億72百万円(前年同期比2.3%増)となりました。しかしながら、売上高が減少したため、営業利益は26百万円(前年同期比93.4%減)、経常利益は30百万円(前年同期比92.5%減)、四半期純利益は16百万円(前年同期比94.2%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業では、バルブ・コントロールの受注高は火力発電所、原子力発電所、輸出、上下水道、石油向けが増加したものの、鉄鋼、船舶、化学向け、補修部品が減少したことにより、前年同期比23.4%減少いたしました。売上高は、上下水道、鉄鋼、船舶、化学向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、輸出、石油向け、補修部品が減少したことにより、前年同期比22.8%減少いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は前年同期比23.4%増加いたしました。売上高は前年同期比4.2%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、前年同期比で受注高は16.9%、売上高も2.0%増加いたしました。歯車の受注高及び売上高は、建設機械用、鉄道・船舶用、その他産業機械用は増加いたしました。自動車用が減少したことにより、受注高は前年同期比22.9%、売上高も前年同期比27.6%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比12.3%減少し、売上高は前年同期比16.9%減少いたしました。

工事業につきましては、受注高と売上高はともに火力発電所、原子力発電所、石油化学、上下水道向けが減少したことにより、受注高は前年同期比13.8%減少し、売上高も前年同期比35.8%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ6億58百万円減少し74億65百万円となりました。これは主にたな卸資産が1億27百万円増加いたしました。現金及び預金が3億48百万円、売上債権が4億85百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ48百万円増加し27億47百万円となりました。これは主に有形固定資産が37百万円減少いたしました。投資有価証券が44百万円、前払年金費用が43百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ5億56百万円減少し21億38百万円となりました。これは主に、環境対策引当金が23百万円増加いたしました。仕入債務が2億78百万円、1年内返済予定の長期借入金が24百万円、未払法人税等が2億9百万円、賞与引当金が1億58百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ58百万円減少し5億71百万円となりました。これは主に長期借入金が31百万円、環境対策引当金が23百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ4百万円増加し75億3百万円となりました。これは主に利益剰余金が26百万円減少いたしました。その他有価証券評価差額金が29百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下回る可能性があります。

上記「(1) 経営成績に関する説明」でご説明したとおり、当第1四半期会計期間末の受注残高は30億98百万円となっており、前事業年度末比124.1%となっております。

これらの受注が予定通りに売上げに計上されるのであれば業績予想の修正開示は必要ないと予想しておりますが、納期変更により予定よりも遅れて計上される場合には修正開示が必要な可能性があります。現時点ではこの売上計上時期が不透明なことから利益を合理的に算定できないため業績予想を変更なしとしますが、さらなる分析等により予想との乖離が確実に判明した際には直ちに開示をする予定でございます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,661,375	2,312,788
受取手形及び売掛金	3,282,308	2,797,138
商品及び製品	117,951	113,242
仕掛品	476,495	442,110
原材料及び貯蔵品	1,210,025	1,376,281
その他	375,788	423,870
流動資産合計	8,123,945	7,465,432
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	773,767	736,373
有形固定資産合計	1,787,058	1,749,664
無形固定資産		
	89,376	88,444
投資その他の資産		
投資有価証券	536,020	580,783
前払年金費用	238,794	282,469
その他	53,469	51,684
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	823,084	909,737
固定資産合計	2,699,518	2,747,846
資産合計	10,823,464	10,213,278
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,503,805	1,225,022
1年内返済予定の長期借入金	232,600	208,600
未払法人税等	236,046	26,698
賞与引当金	316,336	157,969
製品保証引当金	60,280	58,850
環境対策引当金	—	23,541
その他	345,742	437,520
流動負債合計	2,694,811	2,138,203
固定負債		
長期借入金	203,000	171,600
環境対策引当金	23,541	—
資産除去債務	177,784	177,824
その他	225,768	222,168
固定負債合計	630,093	571,592
負債合計	3,324,905	2,709,796

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	5,118,479	5,092,078
自己株式	△32,912	△32,947
株主資本合計	7,322,715	7,296,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	172,872	202,806
評価・換算差額等合計	172,872	202,806
新株予約権	2,971	4,395
純資産合計	7,498,558	7,503,482
負債純資産合計	10,823,464	10,213,278

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,221,095	1,701,383
売上原価	1,351,854	1,201,625
売上総利益	869,241	499,758
販売費及び一般管理費	462,209	472,813
営業利益	407,032	26,944
営業外収益		
受取利息	0	-
受取配当金	6,373	6,539
受取保険金	4,270	-
その他	690	832
営業外収益合計	11,334	7,372
営業外費用		
支払利息	4,370	3,088
固定資産除却損	1,456	0
その他	797	254
営業外費用合計	6,623	3,342
経常利益	411,742	30,974
税引前四半期純利益	411,742	30,974
法人税等	134,239	14,804
四半期純利益	277,503	16,170

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,452,442	768,653	2,221,095
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	1,452,442	768,653	2,221,095
セグメント利益	111,208	295,824	407,032

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	1,207,581	493,802	1,701,383
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,207,581	493,802	1,701,383
セグメント利益又は損失(△)	△59,363	86,307	26,944

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。